



平成 23 年 10 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社トーメンデバイス
代 表 者 名 代表取締役社長 石川 静香
(コード番号 2737 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役経理部長 松本 和幸
電 話 番 号 03 - 3536 - 9150 (代表)

平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計業績見込みと前年同期実績との差異に関するお知らせ

平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計 (平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 9 月 30 日) 業績につきまして、前年同期実績と比較して重要な差異が生じる見込みとなりましたので、その概要について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計業績見込み前年同期実績との差異

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前年同期実績(A) (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	101,511	2,666	3,131	1,835	269円92銭
当期連結業績見込み(B) (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	80,000	1,980	2,300	1,360	199円95銭
増減額(B - A)	21,511	686	831	475	
増減率(%)	21.2	25.7	26.5	25.9	

2. 差異が生じた理由

当第 2 四半期累計期間におけるわが国経済は、震災による供給面の制約がほぼ解消する中で持ち直してきているものの、欧州の財政悪化と金融システム不安、そして米国の景気減速から円高が進行し、不透明な状況が続いております。

エレクトロニクス業界におきましては、地デジ化完全移行を控えた薄型テレビ等の駆け込み需要があったものの、デジタル家電は前年同期比で大きく落ち込み、パソコンの販売も当初予想を下回っております。

このような状況の下、前年同期比で 10% を超える円高や、DRAM 価格の大幅下落により、当第 2 四半期連結累計期間の売上高及び各利益は前年に比べ下回る見込みです。

* 上記の業績見込みは、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性がございます。

以 上